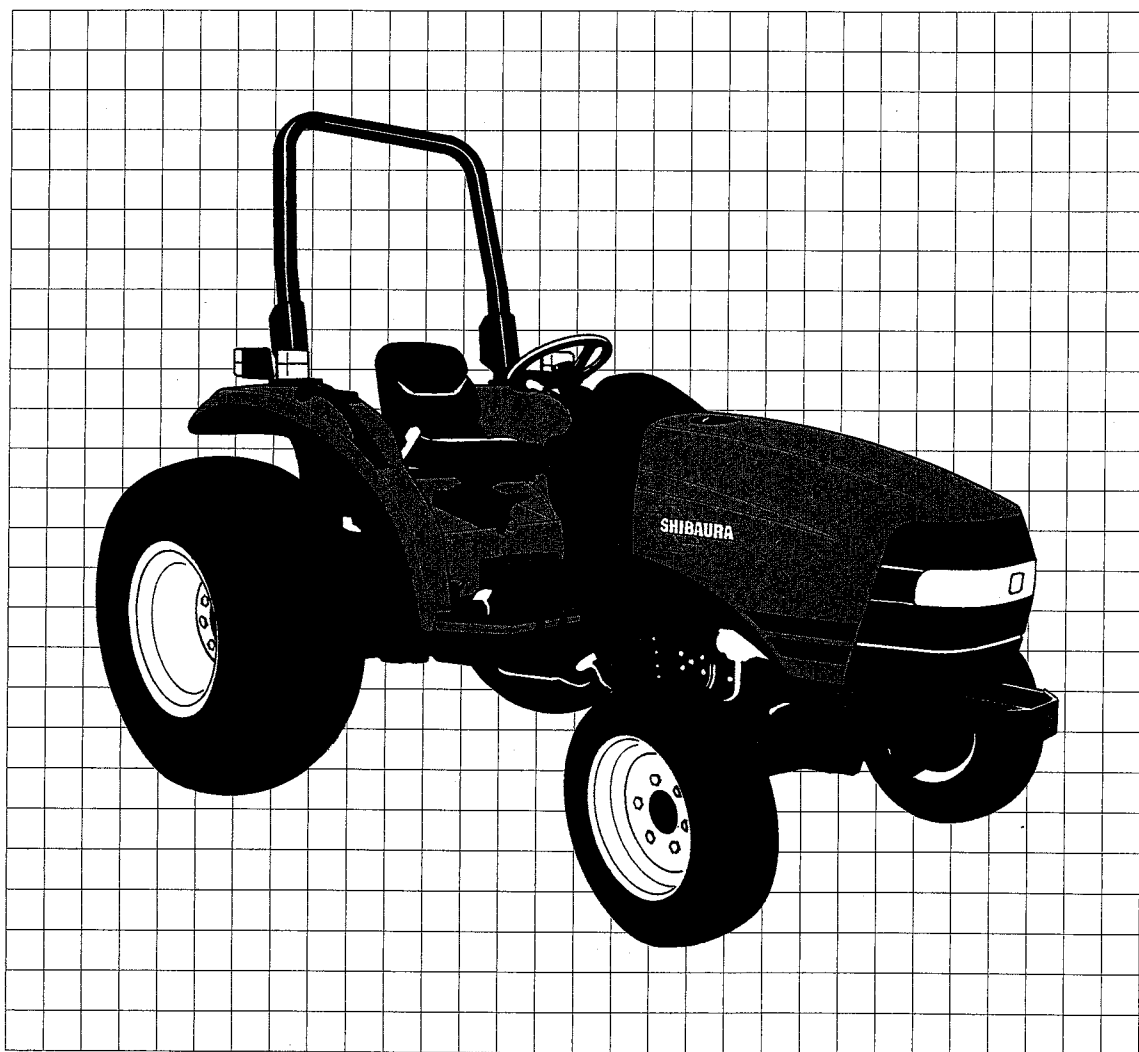


シバウラトラクタ

取扱説明書

ST460 PTO2段仕様用



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本
取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、
事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

シバウトラクタを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、PTO2 段仕様及び微速レバーに関する内容のみを記載してあります。
- それ以外の内容は、別冊の ST460 トラクタの取扱説明書をお読みください。
- ご使用前には、取扱方法及び使用上の注意事項について、必ず別冊の ST460 トラクタの取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

目 次

各装置の取扱い

1 PTO 操作レバー	2
2 PTO 入切スイッチ	2
3 PTO モード切替スイッチ	3
4 微速レバー	3

運転のしかた	4
--------	---

各部の調整

1 走行、PTO 用スイッチ	5
----------------	---

付 表

1 主な仕様	6
2 PTO 回転数エンジン回転数	7
3 作業速度	7

1 PTO 操作レバー

以下の内容は、別冊の 34 ページに相当します。
PTO 操作レバーを図 1 に示します。
安全のために、トラクタを発進するときは、その前に PTO 入切スイッチを切 (OFF) または PTO 操作レバーを N (切) にします。

重 要

変速は、トラクタが完全に停止してからクラッチペダルをいっぱい踏み込んでから行なってください。これを守らないとギヤを破損させるおそれがあります。

PTO 操作レバーの変速操作はまずエンジン回転を低速にしてから、クラッチペダルを踏んで、ゆっくり各変速に切り替えてください。高速のままクラッチを踏むと同時に切り替えることはギヤのために良くありません。

ギヤが入りにくい (かみ合いにくい) ときは、PTO 入切スイッチを再度 (ON) から (OFF) に切り替えた後に、PTO 操作レバーを変速してください。

また、エンジンを低速にして、PTO 入切スイッチが“ON (入)”の時に、PTO モード切替スイッチが、“クラッチ連動”になっている場合の変速は、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで、PTO 操作レバーを変速してください。

ギヤが入りにくい (かみ合いにくい) ときは、再度クラッチペダルを踏みなおしてから、PTO 操作レバーを変速してください。

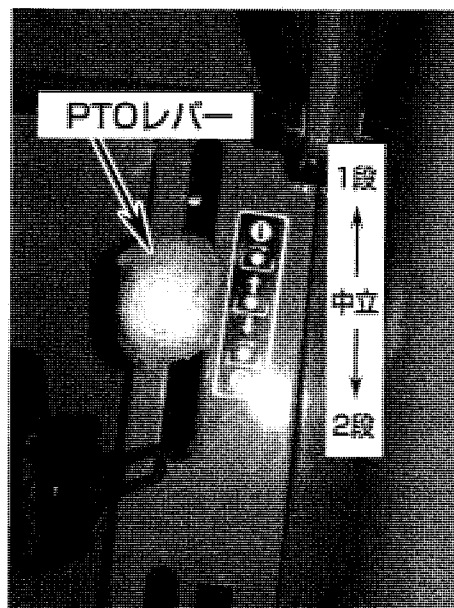


図 1

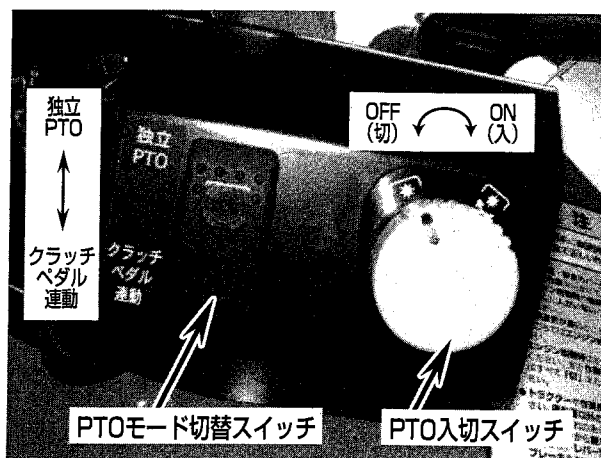
2 PTO 入切スイッチ

PTO 入切スイッチは、次の 2 つの位置に切り替えることができます。

OFF (切) PTO の回転を切るときの位置
安全のため、(OFF) の位置にないとエンジンは始動しない構造になっています。

ON (入) PTO を回転させるときの位置
PTO 入切スイッチの操作は、廻しながら押して、ON (入) になります。

OFF (切) の時は、押すだけで元の位置に戻ります。



3 PTO モード切替スイッチ

PTO入切スイッチが“ON (入)”の場合のみ、PTOモード切替スイッチは、次の2つの位置に切り替えることができます。

切替が出来る場合は、緑色のインジケータランプが点灯します。

独立PTO PTOを回転させるときの位置

走行のミッションとは完全に独立しているので、PTOギヤが入っている時は、クラッチペダルを踏んでもPTOは止まりません。

クラッチペダル連動

この位置で、PTOが断続できます。

クラッチペダルをいっぱい踏むとPTOが切れ、離すとPTOのギヤが入っている時は、PTOが回転します。作業中、走行と同時にPTOの回転を断続したい時に使用します。

PTOの回転数は、下記の示すようになっています。

PTO レバー	PTO 回転数 (rpm)	エンジン回転数 (rpm)
1 段	540	2475
2 段	540	1755
2 段	750	2438

リヤPTOは、540rpm & 750rpm (回転数/分) で使用するようになっています。この回転数を目安に作業してください。

注 意

作業機指定のPTO回転数を厳守してください。守らないと、作業機が壊れ事故を起こすおそれがあります。

4 微速レバー

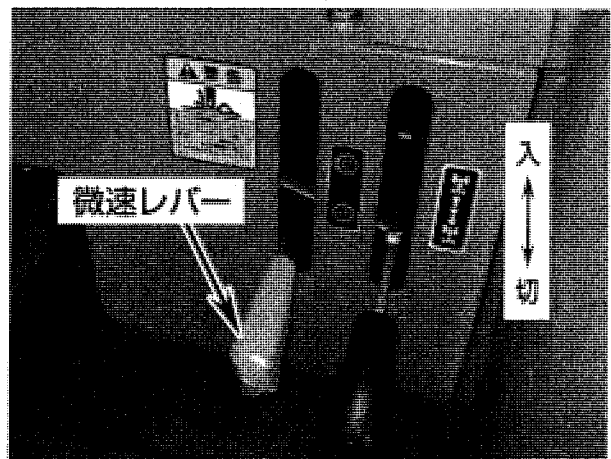
微速レバーを“入 (ON)”にすると、超低速になり、“切 (OFF)”にすると標準速度になります。作業に応じてご使用ください。

次のような作業に適しています。

- エアレーション作業
- 農業用トレンチャーによる作業

重 要

1. 変速は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから行なってください。
2. 停止するときは、必ずクラッチを切ってからブレーキをかけてください。
微速では車軸の回転力が非常に大きくなるため、ブレーキペダルだけを強く踏んでもブレーキはきかず、故障の原因になります。
3. 次のような作業には微速を使用しないでください。
 - ・没状態からの脱出
 - ・けん引、トレーラ作業
 - ・フロントブレード作業 (除雪作業等)
 - ・ほ場への出入り



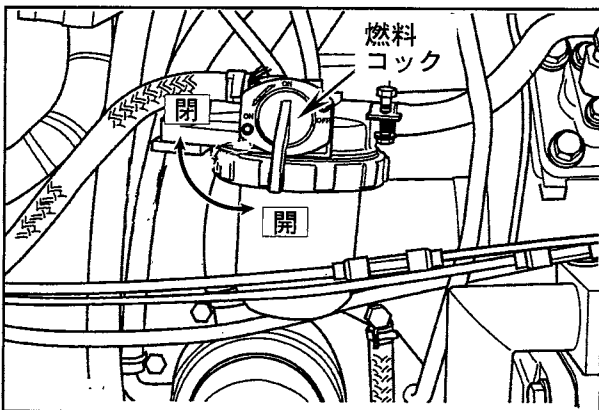
エンジンの始動方法

以下の内容は、別冊の43ページに相当します。

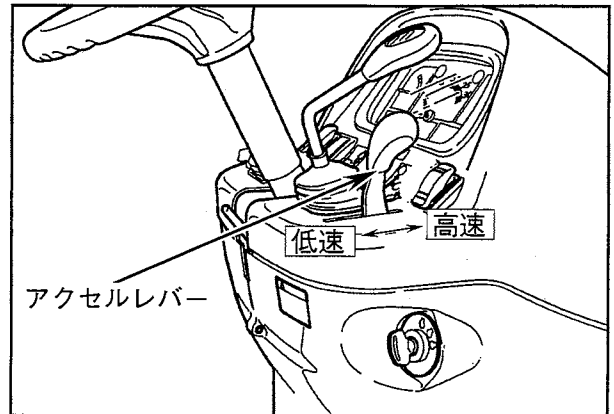
警告

- エンジン始動時は、必ず運転席に座ってレバーの位置と周囲の安全を確認してください。守らないと、傷害事故をおこすおそれがあります。
- 閉めきった室内ではエンジンを始動しないでください。エンジンは風通しのよい屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は、十分に換気をしてください。守らないと、排気ガスによる中毒をおこし、死亡事故を起こすおそれがあります。

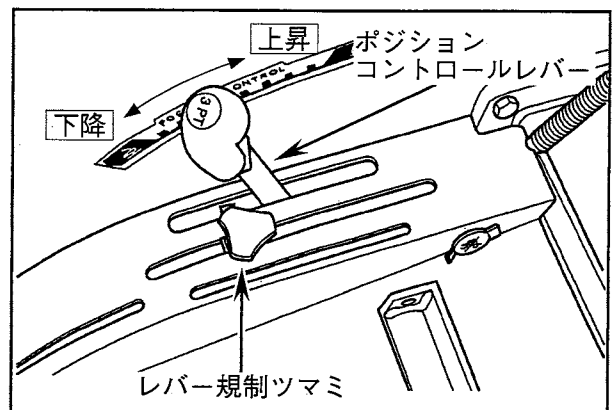
- 1 燃料コックを開く (OPEN) にします。



- 2 駐車ブレーキをかけます。
3 シャトルレバー、PTO 入切スイッチを OFF (切) の位置にします。
4 アクセルレバーを手前に引きます。



- 5 ポジションコントロールレバーを [下げ] にします。



- 6 クラッチペダルをいっぱい踏込みます。
7 キースイッチを [HEAT] (予熱) の位置に回します。グローランプが点灯し、約4秒後に消灯します。
8 グローランプが消えたら、速やかにキースイッチを [START] の位置に回すと、エンジンが始動します。

始動したらキーから手を離してください。キーは自動的に [ON] の位置に戻ります。

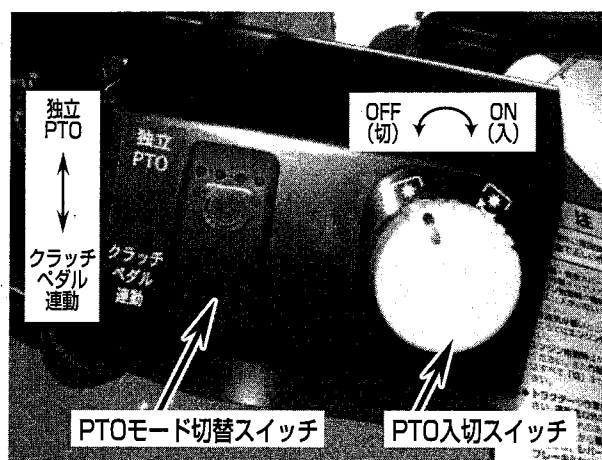
- 9 アクセルレバーを前方へ押してエンジン回転を約 1000 rpm (1000 回転/分) にします。そのまま約5分間暖機運転をしてください。(エンジンが暖まっているときは暖機運転は不要です。)

1 走行、PTO 用スイッチ

以下の内容は、別冊の 65 ページに追加します。

走行及び PTO 入切スイッチのセフティスイッチは、左側ステップの下にあります。

- 1 クラッチペダルをいっぱい踏み込んで、シャトルレバーが中立 (N) 及び PTO 入切スイッチが “OFF (切)” の状態で、キースイッチを “START” の位置に回した時に、スタータが回転 (エンジン始動) します。クラッチペダルを離して、キースイッチを “START” の位置に回してもスタータが回転しないようになっています。
- 2 PTO 入切スイッチが “ON (入)” の時に、PTO モード切替スイッチが、“クラッチ連動” になっている場合、クラッチペダルをいっぱい踏むと PTO が切れ、離すと PTO のギヤが入っている時は、PTO が回転します。作業中、走行と同時に PTO の回転を断続したい時に使用します。



1 主な仕様

以下の内容は、別冊の 73 ページに相当します。

機種名		ST460	
ミッション形式 (変速装置)		シンクロシャトルシフト (2 4 X 2 4)	
機体寸法	全 長	mm	3573
	全 幅	mm	1846 (475/65D20) 2115 (13.6/12-28)
	全 高 (安全フレーム)	mm	2340 (475/65D20)
	シートの高さ	mm	1130 (475/65D20)
	軸 距	mm	1900
	輪 距	前 輪	mm
後 輪		mm	1380 (475/65D20) 1760 (13.6/12-28)
車輪	前 輪		27x10.5-15 又は 9.5-16
	後 輪		475/65D20 又は 13.6/12-28
機 体 重 量		kg	1915 (475/65D20)
エンジン	型 式 名		N844L-T
	種 類		4 サイクル水冷ディーゼル
	気 筒 数		4
	総 行 程 容 積	cc	2200
	機 関 出 力	kw(HP)/rpm	44.7 (60) /2800
車 体	クラッチ方式		乾式単板
	制 動 装 置		湿式多板ディスクブレーキ
	かじ取り装置		全油圧式パワーステアリング
	差 動 装 置		シンクロメッシュ、選択摺動式
バ ッ テ リ			12V 105D31R
走 行	前 進		24 段
	後 進		24 段
作業機昇降装置			油圧式
三点リンク			JIS 1、2 兼用型
P T O	軸寸法		JIS φ 35
	回転方向		トラクタ後方より見て右回転(時計方向)
	変速段数		2 段
容 量	燃料タンク容量	(L)	51
	エンジンオイル	(L)	7
	ミッションケースオイル	(L)	46
	パワステオイル	(L)	1.8
	フロントギヤケース	(L)	左右各 0.9
	フロントデフケース	(L)	4
	ラジエタ冷却水	(L)	5.5

2 PTO 回転数エンジン回転数

(単位 rpm)

PTO レバー	PTO 回転数	エンジン回転数
1 段	540	2475
2 段	540	1755
2 段	750	2438

リヤ PTO は、540rpm & 750rpm (回転数 / 分) で使用するようになっています。

この回転数を目安に作業してください。

注) リヤ PTO の 1 段は、620rpm 以下で使用してください。そうしないと破損する恐れがあります。

3 作業速度

(単位 km/h)

前進側				後進側			
速度段	微 速	副変速	475/65D20	速度段	微 速	副変速	475/65D20
1	入り	L	0.14	1	入り	L	0.15
2	入り	L	0.19	2	入り	L	0.21
3	入り	L	0.25	3	入り	L	0.27
4	入り	L	0.33	4	入り	L	0.35
5	入り	M	0.36	5	入り	M	0.39
6	入り	M	0.49	6	入り	M	0.53
7	入り	M	0.64	7	入り	M	0.69
8	入り	M	0.82	8	入り	M	0.88
9	入り	H	1.02	9	入り	H	1.09
10	入り	H	1.38	10	入り	H	1.48
11	入り	H	1.80	11	入り	H	1.94
12	入り	H	2.32	12	入り	H	2.49
13	切りり	L	1.49	13	切り	L	1.60
14	切り	L	2.02	14	切り	L	2.17
15	切り	L	2.64	15	切り	L	2.84
16	切り	L	3.39	16	切り	L	3.64
17	切り	M	3.75	17	切り	M	4.03
18	切り	M	5.07	18	切り	M	5.46
19	切り	M	6.64	19	切り	M	7.14
20	切り	M	8.52	20	切り	M	9.17
21	切り	H	10.54	21	切り	H	11.34
22	切り	H	14.28	22	切り	H	15.36
23	切り	H	18.69	23	切り	H	20.11
24	切り	H	23.96	24	切り	H	25.80

速度はエンジン定格回転 (2800rpm) のときをしめします。



株式会社 **SHIBAURA**

トラクタ・グリーン事業部

お問い合わせ先

〒390-8714 長野県松本市石芝 1-1-1 TEL.0263(25)4502 FAX.0263(26)7517